



## キュウリ追肥・水やりで長期収穫

キュウリは食感と新鮮さが本命。家庭園なら実が少し小さくても大きくなくても楽しめます。生育適温は日中22〜28度、夜間17、18度です。根は浅く張るため乾燥に弱いので、水持ちが良く、有機物の多い畑が適します。

【品種】「VR夏すずみ」(タキイ種苗)はうどんこ病やべと病耐病性で、ウイルス病にも強い品種。「よしなり」(サカタのタネ)は、暑と寒さに強く安定して長期間収穫でき、うどんこ病やべと病に強いです。

【苗作り】 植え付け時期から逆算しておよそ30日前に、加温された9cmポリポットに3粒ずつ種まきします(図1)。発芽したら30度以上にならないように換気し、本葉1本の頃に間引いて1本立にし、本葉4、5枚まで育

図1 加温育苗

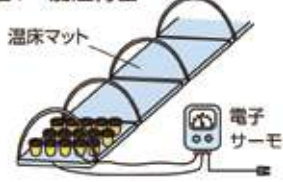


図2 畑の準備



図3 植え付け

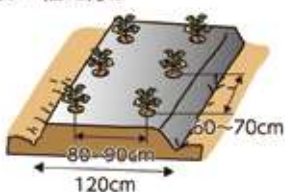


図4 支柱立て

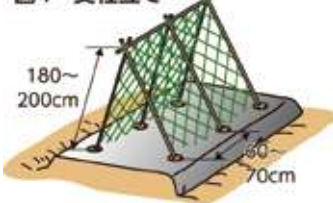


図5 摘心



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

【摘葉・摘果】 黄化した下葉や病気の葉は随時摘葉し、曲がり果などの変形

果は小さいうちに摘果して、株の負担を軽くします。

【追肥・水やり】 肥切れさせないように、収穫終了前まで2週間ごとに追肥を続けます。1回目は果実が取れる頃に株の周りに施し、軽く土と混合します。2回目以降は1平方m当たり化成肥料30g程度を畝の肩に浅く溝を作つて施し、薄く土をかけます。キュウリは特に水分が必要で、畑が乾いていたらず水やりをします。

【病害虫防除】 べと病やうどんこ病は、登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

【収穫】 長さ21、22cm、重さ100〜120gくらいが収穫適期ですが、小さくてもモロキュウとして楽しめます。最盛期は朝夕2回の収穫を心がけ、また草勢が弱ったときには若取りして株の負担を減らし回復を早めましょう。

栽培カレンダー (キュウリ)



登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

【病害虫防除】 べと病やうどんこ病は、登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

【収穫】 長さ21、22cm、重さ100〜120gくらいが収穫適期ですが、小さくてもモロキュウとして楽しめます。最盛期は朝夕2回の収穫を心がけ、また草勢が弱ったときには若取りして株の負担を減らし回復を早めましょう。

【追肥・水やり】 肥切れさせないように、収穫終了前まで2週間ごとに追肥を続けます。1回目は果実が取れる頃に株の周りに施し、軽く土と混合します。2回目以降は1平方m当たり化成肥料30g程度を畝の肩に浅く溝を作つて施し、薄く土をかけます。キュウリは特に水分が必要で、畑が乾いていたらず水やりをします。

【病害虫防除】 べと病やうどんこ病は、登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

【追肥・水やり】 肥切れさせないように、収穫終了前まで2週間ごとに追肥を続けます。1回目は果実が取れる頃に株の周りに施し、軽く土と混合します。2回目以降は1平方m当たり化成肥料30g程度を畝の肩に浅く溝を作つて施し、薄く土をかけます。キュウリは特に水分が必要で、畑が乾いていたらず水やりをします。

【病害虫防除】 べと病やうどんこ病は、登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

【追肥・水やり】 肥切れさせないように、収穫終了前まで2週間ごとに追肥を続けます。1回目は果実が取れる頃に株の周りに施し、軽く土と混合します。2回目以降は1平方m当たり化成肥料30g程度を畝の肩に浅く溝を作つて施し、薄く土をかけます。キュウリは特に水分が必要で、畑が乾いていたらず水やりをします。

【病害虫防除】 べと病やうどんこ病は、登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

【追肥・水やり】 肥切れさせないように、収穫終了前まで2週間ごとに追肥を続けます。1回目は果実が取れる頃に株の周りに施し、軽く土と混合します。2回目以降は1平方m当たり化成肥料30g程度を畝の肩に浅く溝を作つて施し、薄く土をかけます。キュウリは特に水分が必要で、畑が乾いていたらず水やりをします。

【病害虫防除】 べと病やうどんこ病は、登録農薬で防除します。アブラムシは、粘着くん液剤などを散布します。

# 花卉部会便り

かきぶかいだより

## 切り花ハボタンを栽培・出荷しましょう

### ハボタンを栽培していただける方、大募集中!!

JAレーク伊吹花卉部会のハボタンの出荷は、2014年の50本からはじまり、栽培・出荷していただきました方々のおかげをもちまして、市場の主要産地となりました。市場出荷本数の増加を要望していただけることから、当JA花卉部会はハボタンを栽培していただける方を大募集しています。ハボタン栽培は、部会で研修会を開催し、栽培1年目から出荷ができます。

ご興味のある方は、栽培の方法等を説明させていただきますので下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡をお待ちしています。



栽培カレンダー

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培	は種	定植					収穫
ハウス栽培		は種	定植				収穫

お問い合わせ・申し込み先/特産振興課 ☎63-2108 (8:30~17:00)

☑メールでのお問い合わせも受付しています  
当JAホームページのお問い合わせフォームへお寄せください(お返事に時間がかかる場合があります)

